

「はあ…♥、金玉軽くなつたあ…♥」

（うわあ…♥、夏姫のおっぱい
使用済みオナホールみたいにドロドロだあ…♥）

「ああ…、太一い…」

母乳が噴き出して止まんないよお…♥
ぴゅーぴゅー吹き出しちゃう…」

「おお…♥、丁度良いじゃん
沢山射精して喉乾いてたんだよね…」

「あわわ…、太一ってば
あたしのおっぱいとかん楽しむ気だあ…♥」

ぐんお…♥

（太一、最近あたしのおっぱい飲みすぎだよお…♥
味覚でまであたしを楽しむなんて…、太一の変態…♥）



「れろれろれろ…♡
子種出してえ…♡、じゃないと大学行っちゃやだ…♡
金玉空っぽじゃないと駄目なのお…♡」

夏姫がぐずる様に射精をねだる

「ふうう…♡、お、俺は絶対浮気なんてしないってば…♡」

れろれろ…♡

「だって太一格好良いから不安なんだもん…♡
絶対ヤリサーとかいうのに入っちゃ駄目だからね…！」

